

シンプルな「かご型」ですが、奥行きが狭いので、編み上げから均等にまっすぐ立ち上げていく技術が必要です。ペンケース、ポーチ、クラッチバッグなど登場機会の多いスキルなので、早めに制作しておきたい作品といえます。また、フチ部では45度、90度に折り返すことで凸凹デザインを表現していますが、この処理も様々な作品で見られるので意識して学習すると必ず役に立ちます。一般ワークショップでは「中級1コース」にあたります。

【完成サイズ】: 約 130×120×D50mm
 【面取り作業】: 必須
 【なめし作業】: 必須
 【制作時間】: 約 3 時間
 【動画視聴】: あり



【スペック】

ベルト(約 W20×L600mm×8 本、約 W20×L800mm×2 本)
 予備ベルト①(芯用約 60mm×4 本)
 予備ベルト②
 レシピ(本紙)

【必要な工具】

< 必須工具 >

ラスタ 木製ピンチ ハサミ 定規 鉛筆
 なめし道具(オリーブオイル、タオル、小皿)

< 状況により必要となる工具 >

カッター 輪ゴム
 ポンド(セメダイン社スーパーXゴールド(XG) <推奨>)

【動画視聴方法】

YouTube を視聴できる最新のブラウザ、オペレーティング システム、良好なインターネット接続が必要です。
 PC 操作方法や動画操作手順はサポート外ですので、お身内やご友人などお分かりになる方にお聞きください。
 ※最新バージョンの Google Chrome、Firefox、MS Edge、Safari、Opera
 ※500 Kbps 以上のインターネット接続システム要件



タブレットやノート PC などの環境で閲覧いただくのが一番オススメですが、それほど古くない普通のスマホ(らくらくフォンなど制限のあるものは除く)をお持ちであればほとんど問題ないと思われます。ただ画面が小さいのでわかりにくい箇所もあるかもしれません。
 ※動画 URL を一般に公開することを固く禁じます。
 ※休会・退会された場合は、視聴することができなくなります。

【制作前に一読ください】

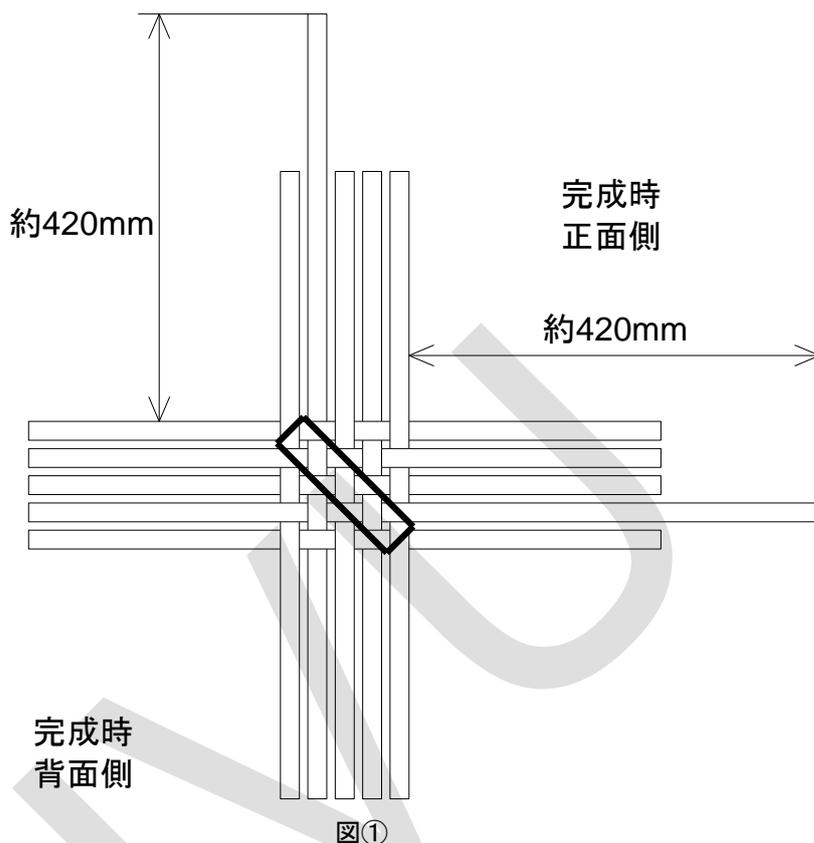
- 本紙を参照しつつ、**動画解説に主軸を置いて進めていきます。**
 また、講座修了者を対象としているので、基本的な工程は解説を省略していることがあります。
- 制作前には、「**スペック**」や「**必要な工具**」が揃っているか確認ください。
- 本作品は、「**かご型**」に属します。
 以下に大別される手順にしたがって作業を進め、完成を目指しましょう！
「井桁状に並べる ⇒ 編み上げる ⇒ フチで折り返す ⇒ 始末する」

1. 井桁状に並べる

1-1. 外皮側(赤印)に鉛筆で中央に印をつけ、図①のように井桁状に並べ、すき間を寄せます。

この際、約 420mm 長めに出す箇所の調整を忘れずに。

1-2. 図①の太線に沿って定規をあて、手前に折り曲げます。



2. 編み上げる

2-1. 動画解説を参考に、外皮側を見ながら編み始めます。

2-2. 1角終わったら、1マスが正方形になるようにすき間を寄せて、2角目を編み進めます。

2-3. 以降、同じ作業を繰り返します。4つ角を折り曲げて、ゆがみがないか確認しましょう。

3. フチで折り返す

数ヶ所、予備ベルトを使って「芯」を充てていきますので解説に注目しましょう。

3-1. 図①を参考に「完成時正面側になる面」を確認して手前に向けます。

以降、動画を参考にフチを折り返していきます。

3-2. 1マスの対角線を「1」とすると「2.5」の高さで中心の1マスに鉛筆で線を書き入れます。線を入れたマスのベルトを2本解き、線通りに手前に折り曲げ、木製のピンチで止めます。

3-3. 動画解説の通り、「3」の高さで左右3マスに鉛筆で線を描き入れます。線を入れたベルトを1本ずつ解き、線通りに手前に折り曲げ、側面のすき間に差し込みます。

3-4. 3-3. のベルトの上を覆うようにベルト45度に手前に折り曲げ、隙間に2マス先まで差し込みます。
※3-2. で折り曲げたベルトと交差する箇所の処理に注意です。

「芯」を充てて、重ね順に注意しながら動画解説の通りに処理しましょう。

3-5. 図①を参考に「完成時背面側になる面」を手前に向け、1 マスの対角線を「1」とすると「4」の高さで交差するマスを手前に90度交差するように折り曲げ、木製ピンチで止めます。

3-6. 3-5. で折り曲げたベルトと交差する箇所に「芯」を充てて、重ね順に注意しながら動画解説の通りに処理しましょう。

3-7. 3-3. で鉛筆で書き入れた残りの3マスを1本ずつ解き、線通りに手前に折り曲げ、側面のすき間に差し込みます。(3マス)

3-8. 3-7. のベルトの上を覆うようにベルト45度到手前に折り曲げ、隙間に2マス先まで差し込みます。

※3-5. で折り曲げたベルトと交差する箇所の処理に注意です。

「芯」を充てて、重ね順に注意しながら動画解説の通りに処理しましょう。

3-9. 3-2. で手前に折り曲げたベルトと交差する箇所の処理に注意です。

「芯」を充てて、重ね順に注意しながら動画解説の通りに処理しましょう。

3-10. 動画を参考に、側面にベルトを差し進めていきます。

4. 始末する

4-1. 動画を参考に底部で出会ったベルトを順番に始末して完成です！